



令和7年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

令和6年11月14日

上場会社名 株式会社 御園座 上場取引所 名
 コード番号 9664 URL <http://www.misonoza.co.jp>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 宮崎敏明
 問合せ先責任者（役職名） 執行役員総務経理部長（氏名） 平松隆 (TEL) (052) 222-8202
 半期報告書提出予定日 令和6年11月14日 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 令和7年3月期第2四半期（中間期）の業績（令和6年4月1日～令和6年9月30日）

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
7年3月期中間期	1,454	△15.3	△83	—	△85	—	△58	—
6年3月期中間期	1,717	75.6	116	—	111	—	92	—

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
7年3月期中間期	△11.84	—
6年3月期中間期	18.59	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
7年3月期中間期	5,773	4,514	78.2
6年3月期	6,133	4,575	74.6

(参考) 自己資本 7年3月期中間期 4,514百万円 6年3月期 4,575百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
6年3月期	—	—	—	—	—
7年3月期	—	—	—	—	—
7年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和7年3月期の業績予想（令和6年4月1日～令和7年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,530	△29.9	29	△86.6	17	△91.8	14	△92.1	2.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	7年3月期中間期	4,984,500株	6年3月期	4,984,500株
② 期末自己株式数	7年3月期中間期	5,294株	6年3月期	5,294株
③ 期中平均株式数（中間期）	7年3月期中間期	4,979,206株	6年3月期中間期	4,979,306株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 中間財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間貸借対照表	5
(2) 中間損益計算書	7
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等の注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間会計期間におけるわが国経済は、インバウンド需要の拡大や雇用・所得環境の改善により個人消費が増加したことで、景気は緩やかな回復基調で推移しました。一方で、資源価格の高騰や為替変動による物価の上昇など、依然として先行き不透明な状況が続きました。

当社におきましては、徹底した感染拡大予防対策を継続し、お客様と公演関係者の安心・安全を最優先に考え、安心してご来場いただけるよう努め、その中で引き続きお客様の嗜好に合わせた公演の実現、観客動員の維持も図りながら、注意深く上演しております。

今後につきましても、感染拡大の防止策を徹底し、公演数及び観客動員の拡大を図りながら、お客様に喜んで頂ける公演を増加させていく予定であります。

当社は、以下の通り、令和6年4月から9月までに公演を18種類、上演日数として94日間、上演回数として120回(前年同期163回)の実施を致しました。公演中止もなく、予定していた公演すべて順調に上演することが出来ました。

〈当中間会計期間の上演実施作品〉

公演名	上演期間	上演日数	上演回数
舞台『千と千尋の神隠し』	4月7日～20日	14	18
舞台『銀行強盗にあって妻が縮んでしまった事件』	4月26日～28日	3	4
スーパー歌舞伎『ヤマトタケル』	5月6日～19日	14	18
『トンカツロック』	5月23日～27日	5	7
坂東玉三郎特別公演『怪談牡丹燈籠』片岡愛之助出演	6月1日～9日	9	8
『ベルサイユのばら50』～半世紀の軌跡～	6月14日～16日	3	4
中村美律子コンサート2024	6月21日	1	1
ミュージカル『この世界の片隅に』	6月28日～30日	3	4
山里亮太の140愛知公演	7月5日	1	1
宝塚歌劇花組公演ミュージカル『ドン・ジュアン』	7月16日～8月1日	17	22
ブロードウェイ ミュージカル『ピーター・パン』	8月11日～12日	2	2
夏休み!スペシャル『吉本新喜劇&バラエティ公演』	8月13日～18日	6	11
舞台『星列車で行こう』	8月23日～26日	4	6
藤原紀香主演 舞台『カルメン故郷に帰る』	8月31日～9月1日	2	3
舟木一夫御園座特別コンサート2024	9月4日～8日	5	5
鶴瓶御園座独演会	9月14日～15日	2	2
マツケンサンバコンサートスペシャル	9月16日	1	2
柚香 光『TABLEAU』	9月28日～29日	2	2
合計		94	120

(上演日数には休演日も含みます)

〈公演中止となった当中間会計期間の上演予定作品〉

公演名	上演期間	上演日数	上演回数
該当なし		—	—
合計		—	—

この結果、当中間会計期間の売上高は、14億5千4百万円（前年同期は17億1千7百万円）となりました。売上高は減少し、利益面では、営業損失8千3百万円（前年同期は営業利益1億1千6百万円）、経常損失8千5百万円（前年同期は経常利益1億1千1百万円）、中間純損失5千8百万円（前年同期は中間純利益9千2百万円）となりました。なお、当中間会計期間に予定していた公演をすべて順調に上演できましたので、公演中止に伴う特別損失はございません。

当社の報告セグメントは劇場事業単一セグメントでありますので、セグメント別の記載は省略しております。

(2) 当中間期の財政状態の概況

① 資産・負債及び純資産の状況

(資産の部)

当中間会計期間末における流動資産の残高は、9億6千5百万円となり、前事業年度末に比べ2億4千1百万円の減少となりました。この主な要因は、現金及び預金が3億6百万円減少、売掛金が3千4百万円増加したことによるものであります。固定資産の残高は、48億7百万円となり、前事業年度末に比べ1億1千9百万円の減少となりました。この主な要因は、建物及び構築物が5千7百万円、機械及び装置が4千5百万円減少したことによるものであります。この結果、総資産は、57億7千3百万円となり、前事業年度末に比べ3億6千万円の減少となりました。

(負債の部)

当中間会計期間末における流動負債の残高は、5億6百万円となり、前事業年度末に比べ1億7千4百万円の減少となりました。この主な要因は、買掛金が1千7百万円の減少、未払法人税等が4千2百万円減少、前受金が5千3百万円減少、その他が5千4百万円減少したことによるものであります。固定負債の残高は、7億5千1百万円となり、前事業年度末に比べ1億2千4百万円の減少となりました。この主な要因は、長期借入金が1億円減少したことによるものであります。この結果、負債合計は、12億5千8百万円となり、前事業年度末に比べ2億9千9百万円の減少となりました。

(純資産の部)

当中間会計期間末における純資産の残高は、45億1千4百万円となり、前事業年度末に比べ6千1百万円の減少となりました。この主な要因は、利益剰余金が5千8百万円減少したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当中間会計期間における現金及び現金同等物は、前事業年度末に比べて3億6百万円減少し、7億7千5百万円となりました。

〔営業活動によるキャッシュ・フロー〕

営業活動によるキャッシュ・フローは、2億2百万円の支出（前年同期は1億2千5百万円の収入）となりました。これは、主に税引前中間純損失8千2百万、減価償却費1億1千7百万円、売上債権の減少3千4百万円、未払又は未収消費税等の増減5千6百万円、前受金の減少5千3百万円、法人税等の支払額3千9百万円によるものです。

[投資活動によるキャッシュ・フロー]

投資活動によるキャッシュ・フローは、0百万円の収入(前年同期は4百万円の支出)となりました。

[財務活動によるキャッシュ・フロー]

財務活動によるキャッシュ・フローは、1億4百万円の支出(前年同期は1億1千9百万円の支出)となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出1億円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和7年3月期の業績予想につきましては、当中間会計期間の業績及び今後の見通しを検討した結果、現時点において令和6年5月10日付「令和6年3月期決算短信」にて発表いたしました業績予想からの変更はありません。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (令和6年3月31日)	当中間会計期間 (令和6年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,111,874	805,469
売掛金	77,248	111,802
貯蔵品	1,279	1,262
未収入金	-	3,184
未収消費税	-	10,410
その他	15,785	33,007
流動資産合計	1,206,187	965,137
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,213,293	2,155,644
機械及び装置(純額)	448,031	402,536
土地	2,124,656	2,123,768
その他	63,510	56,128
有形固定資産合計	4,849,491	4,738,078
無形固定資産	5,701	2,306
投資その他の資産		
投資有価証券	57,074	54,897
その他	15,788	13,345
貸倒引当金	△739	△739
投資その他の資産合計	72,123	67,503
固定資産合計	4,927,316	4,807,888
資産合計	6,133,504	5,773,025

(単位:千円)

	前事業年度 (令和6年3月31日)	当中間会計期間 (令和6年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	159,922	141,969
1年内返済予定の長期借入金	200,000	200,000
未払金	31,979	25,975
未払法人税等	54,528	11,644
前受金	168,873	115,417
賞与引当金	2,000	2,000
その他	63,411	9,232
流動負債合計	680,715	506,239
固定負債		
長期借入金	600,000	500,000
繰延税金負債	267,494	242,973
退職給付引当金	7,888	7,483
その他	1,500	1,500
固定負債合計	876,882	751,957
負債合計	1,557,598	1,258,197
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,271,937	2,271,937
資本剰余金	2,137,621	2,137,621
利益剰余金	180,099	121,121
自己株式	△39,994	△39,994
株主資本合計	4,549,663	4,490,685
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	26,242	24,142
評価・換算差額等合計	26,242	24,142
純資産合計	4,575,906	4,514,828
負債純資産合計	6,133,504	5,773,025

(2) 中間損益計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 令和5年4月1日 至 令和5年9月30日)	当中間会計期間 (自 令和6年4月1日 至 令和6年9月30日)
売上高	1,717,921	1,454,964
売上原価	1,278,689	1,227,187
売上総利益	439,231	227,776
販売費及び一般管理費	322,569	311,583
営業利益又は営業損失(△)	116,662	△83,806
営業外収益		
受取配当金	1,430	1,529
その他	961	2,081
営業外収益合計	2,391	3,610
営業外費用		
支払利息	5,698	5,165
その他	1,735	520
営業外費用合計	7,433	5,686
経常利益又は経常損失(△)	111,620	△85,882
特別利益		
固定資産売却益	—	3,247
特別利益合計	—	3,247
税引前中間純利益又は税引前中間純損失(△)	111,620	△82,634
法人税、住民税及び事業税	19,332	787
法人税等調整額	△284	△24,443
法人税等合計	19,048	△23,656
中間純利益又は中間純損失(△)	92,571	△58,978

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間会計期間 (自 令和5年4月1日 至 令和5年9月30日)	当中間会計期間 (自 令和6年4月1日 至 令和6年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純利益又は税引前中間純損失(△)	111,620	△82,634
減価償却費	123,174	117,703
退職給付引当金の増減額(△は減少)	52	△404
受取利息及び受取配当金	△1,431	△1,579
有形固定資産売却損益(△は益)	-	△3,247
支払利息	5,698	5,165
売上債権の増減額(△は増加)	48,595	△34,554
未収入金の増減額(△は増加)	△1,964	△3,184
棚卸資産の増減額(△は増加)	△401	17
仕入債務の増減額(△は減少)	△249,457	△17,952
未払又は未収消費税等の増減額	△99	△56,348
前受金の増減額(△は減少)	11,047	△53,455
その他	3,431	△28,678
小計	50,265	△159,153
利息及び配当金の受取額	1,431	1,579
利息の支払額	△5,672	△5,217
補助金の受取額	50,000	-
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	29,175	△39,940
営業活動によるキャッシュ・フロー	125,200	△202,732
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△5,000	△3,350
有形固定資産の売却による収入	-	4,377
その他	73	△254
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,926	772
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△114,994	△100,000
リース債務の返済による支出	△4,379	△4,445
財務活動によるキャッシュ・フロー	△119,373	△104,445
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	900	△306,405
現金及び現金同等物の期首残高	823,987	1,081,874
現金及び現金同等物の中間期末残高	824,887	775,469

(4) 中間財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社は劇場事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。